

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391600133
事業所名	グループホーム 向の山

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 様々な機会を利用してボランティアの募集を行っており、その成果が出てボランティアの来訪が増えている。 管理者が地域の消防団に入会し、毎月の訓練に参加したり夜回りパトロールに出たりして、地域の防災に貢献している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 併設されている同法人の小規模多機能施設や近くのグループホームと共催で運営推進会議を開催しており、2ヶ月に一度の開催である。 家族代表、区・福祉課長、地域包括支援センター長、自治会長、3地区の民生委員会会長、消防団長、複数の薬局から管理薬剤師、ケアマネセンターの職員等々、多彩なメンバーが集まって有益な会議運営が行われている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には、区の福祉課長や地域包括支援センターのセンター長が出席し、会議の中で行政としての連絡事項を伝えている。 参加した家族代表からの質問にも、丁寧に答えている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） ホーム運営に協力的な家族が多く、運営推進会議には必ず家族代表の参加がある。 ホーム便りを毎月発行し、家族にホームの活動や利用者の近況を報告している。毎月、ホーム便りの送付に併せて利用者の“ベスト・ショット”の写真を同封している。 新たな目標達成計画に、「ご本人とご家族様が今以上に良い信頼関係を構築する」を掲げている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎		